

事前意見一覧

	該当項目No	考えられる未達理由	今後必要と思われる取組・アイデア
基本目標 1	2	・TX線の開業により、柏の中心が柏の葉キャンパスに移りつつあること、これまで魅力的で主に茨城県からの流入者を惹きつけてきた柏駅周辺の商業施設を迂回して直接都内に出られるようになったこと、その商業施設自体の集客力が失われたこと等が要因と思われる。	・グランドデザインのプロポーザル形式での提案を募集するなど、広く意見を吸収するとともに、柏市民への周知と関心を引くような取り組みが必要と思われる。 ・そごう柏店跡地利用が進まない理由、地権者の動静、進捗を公開し、広く市民に関心を持ってもらう。 ・駅前未利用地の固定資産税の引き上げ。
	2	・そごうの閉店後、日本館の活用のないまま長期化しており柏のブランド力・集客力が頭打ち。 ・手賀沼エリアの観光対策はまだ途上または対策の弱さ。	・柏ブランドの創設ができないか。 食品（ご当地の名物）、スポーツ、観光など
	2	・当項目の目標値はNo.4の「手賀沼・東部地区流動人口（4月休日）」の目標値と同様、基準値の約15%増に設定しているが、当項目が目標を達成できていないのは、やはり市の自己評価にあるように、中心市街地にあったそごう柏店の閉店（28年9月）の影響が大きいと思われる。 ・今後、柏そごうの跡地利用の計画が具体化し、魅力的な形で再開発が実現すれば、当項目の指標は大きく回復する可能性がある。	・柏そごう及びその駐車場の跡地について、民間ベースで具体的な開発計画が進められているようであるが、市の顔とも言えるこの柏駅周辺のエリアが今まで以上に魅力的なものになるよう、市として長期的、総合的な観点から積極的にかかわっていく必要があると思う。
	2	・やはり、そごう柏店へ閉店の影響は大きいと思います。ただ、それにより人の導線が変わり柏二番街商店会方面への流動人口も増えていると聞きました。現在ある柏の魅力・観光スポットを最大限に県外在住者へPRしていけば、さらに流動人口は増加するのではと思います。	・取組事業の一つとして、「かしわインフォメーションセンター」は気軽に立ち寄れて、街の魅力が簡単に手に入れられるのでよいと思います。ここを訪れる人は、柏に来たい！と思ってきた人なので、それ以外で柏についてあまり情報がない県外の人たちにも、もっと観光スポットのPRをしていけたらよいと思います。
	2	・例えば、柏セントラル、セブンパーク・アリオ柏、手賀沼周辺地区や柏の葉エリアなどとの連動性が低い。	・それぞれ異なるエリアや各施設との連動性を高め、融合事業を展開することで、流動人口を増やす必要がある。
	2	・「かしわインフォメーションセンター」窓口だけでは、周知が不十分であると考えられる。	・常に情報が発信できる媒体、SNSなどネット社会に則した情報提供に努めるなどの方法を考えてはどうでしょうか。
	2	・TX沿線とは反対に、柏駅前～周辺の覇気・活気がなくなっていることが要因と考える。	・行動分析などを踏まえて、適した店舗運営サポートの実施。 ・話題にもなっている“小商い”を空き店舗活用できるようにし、積極的なPRを行う。

<p>2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の観光スポットにおけるターゲット設定があいまい。（市内から？市外からのか？） ・市内においても手賀沼周辺に何がありどんな楽しみ方ができるのかの資料やホームページがない。露出も少ない。（柏駅に降りてもポスターなどの掲示がない） ・「手賀沼」で検索するとトリップアドバイザーの情報しか出てこない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・柏しようなんゆめファームはキャンプ地として大変人気が出ており（現在予約困難）アルペンアウトドアフラッグシップがオープンするなど、空前の「キャンプブーム」に必要な素材が揃った場所である。これらを生かし近隣ファミリーや都心からの誘客を図り定住化へつなげる。 ・マーケティング活動による正確な来場理由や来場エリア、来場きっかけ、年齢層などの調査。それらを元に何をどの層に訴えたいかの明確化。 ・地元スポーツ団体・スポーツチームとのタイアップ企画など
<p>6</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評価対象が制度となっているが、政策としての目的や対象が明確になっていないため、柏市としての制度を打ち出せない状況があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的やターゲットを明確にした上で、柏市の制度として何が有効なのか、積極的に検討していく必要がある。 ・隣接する我孫子市では、住宅取得に最大50万円の支援制度がある。このような事例の収集も参考になるのではないか。
<p>6</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値が年間3件のものを、計画に入れる必要があるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・違う形での取組を行うべきでないか。
<p>6</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当項目はアウトプット指標であり、達成できるかどうかは、市が新たな住宅支援制度を設けるかどうかの問題のように思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな支援制度を設ける場合は、既存の2つの支援制度とは異なる切り口で、ニーズの把握を進める必要があると考える。 ・また、近年は「空き家バンク事業」を自治体（佐倉市など）が行っている事例もあるので、参考にしてはどうか。
<p>11</p>	<p>子育て応援情報紙の発行はとても魅力的な取り組みだと思います。地域・ボランティア活動の参加したい活動内容が「子育て支援活動」とのことで、もっと具体的な活動の場を増やしていけば、目標値に近づくとおもいます。</p>	<p>例えば、放課後の児童クラブなどで、シニアの方が昔ながらの遊びを教えるなど、シニア⇔子どものタッチポイントを増やすことで、ゲームではない本来の遊び方を学べるとおもいます。定年退職後などリタイアした方々の活動の場も増え、さらに子育て支援活動をしたいと手を挙げる人も増えると思います。</p>
<p>11</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの養育について最終的な責任と権利を持つ親の意向との調整が必要になり、他のボランティア活動の分野と比べ、関わり方がやや難しい面があると思う。 ・親の世代とボランティアの世代が違えば子育てに関する考え方や方法も異なってくるだろうし、子育て未経験の学生ボランティアの場合、どうしても気遣いの行き届かない部分が出てきてしまうだろうし、親側も不安があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「子育て支援」活動のボランティアを受け入れる親側への理解促進のための取組も必要と思う。トラブルを避けるため、例えば、支援者はあくまでボランティアであり、ベビーシッター（プロ）ではないことを理解してもらうことが必要ではないか。

基本目標 2	12	<ul style="list-style-type: none"> ・柏市への転入が、結婚や出産などのライフステージの変化を契機に転入するケースが多いとのことであり、転入間もない段階で、子育て仲間が見つからない状況が生じるのはやむを得ないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 ・現在の取組を粘り強く継続することでいいと思う。
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・地域になじみがない＝地域の情報を知らないということが大きいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・転入時に子育てに関する情報（子育て支援メニュー、子育て関連施設、小児病院、保育施設等）をバックにしたガイドブックのようなものを渡すといった対策が有効ではないか。
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・地域でのコミュニティの不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の勉強会、セミナー、SNSの活用
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・親が安心して子どもを遊ばせられる場所が十分にあるとは言えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育施設やアフタースクール併設の飲食店や複合施設の整備が必要。 ・子ども同士が遊んで仲良くなることで、親同士も仲良くなり、子育て仲間につながる事が期待できる。
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な背景として、共働き世帯が増え、働くママが急増しています。会社と保育園の往復の中、子育て仲間が必要！と思えるほどの時間的余裕がないのも現状だと思います。柏市は、子育て支援に関してかなり力を入れている印象があります。子育て中の本人が、そもそも「子育て仲間がほしい！」と思って行動しているかどうかも気になります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の自己評価に、「結婚や出産を機に転入し、間もないことで、地域になじみがない方が多いことが考えられる」とあります。以前、転入1年目の方々を市民が迎え、市のさまざまな活動を紹介する他市のイベントに参加したことがあります。子育て支援センターの方々もおもちゃを持参して参加者と触れ合っていました。なかなか足を運んでまで…という若い夫婦にとってはよいきっかけだと思います。
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・市の自己評価にある、「転入間もないこと」は理由の一つになると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・転入手続き時に、子育て世代と把握できると思うので、その時点で手厚いサポートが必要な方に対してはぐはぐひろば等の紹介や声掛けを継続的に行う。 ・No.11の「ボランティア活動に高い意識のある方」を仲介者とし、仲間作りの支援を行う。
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・働きながら子育てをする女性が増えてきている状況のため、自ずと地域とのつながりよりも就労先の「ママ友」や、先輩に相談することが多いのではないか。（地域にいる時間よりも就労先にいる時間の方が長い） ・イベントや講座などは仕事の都合もあり、必ず参加できるものではない。できるとしても直前だったり、新しい団体に飛び込むのはハードルも高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単なるイベントではなく、地域の人たちが集まるコミュニティ作り（いつ入っても、やめても良いような気楽なもの。ただでさえママコミュニティはトラブルの元） ・アリオやららぼーなどの商業施設を活用した就業体験やイベントの実施。

13	<ul style="list-style-type: none"> ・市の自己評価にも記載されていますが、教育環境の充実を問う設問に「分からない」との回答が依然半数近くになっているとありました。柏市は、教育についてとても熱心で力を入れている印象なので、認識不足が未達の理由の一つだと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「かしわエデュ」などの教育向けの小冊子は、親に配布するなどして、市の取り組みをもっとPRすべきだと思います。また、取り組みに対する認識不足は、親向けの説明会、例えばプログラミングなどに関しては体験会などをすることで、よりリアルに実感でき、理解を深められると思います。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・市の自己評価を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 ・現在の取組を粘り強く継続することでいいと思う。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・柏市への転入が、結婚や出産などのライフステージの変化を契機に転入するケースが多いとのことであり、かつ市内への転入者が増加し続けている状況を考えれば、地域によって保育園の入園保留者が生じるのはやむを得ないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 ・現在の取組を粘り強く継続することでいいと思う。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・開設予定施設の公表が遅いことが要因。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園施設開園事業者応募の公開をもう少し早くし応募期間ももう少し長くする。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・昨今の人手不足や女性活躍推進など、女性に対する雇用環境が上向きになっていることが保育ニーズの上昇になっていると考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯の流入人口についても傾向値を示し、分母（希望者）の増加に対して待機割合がどの程度増えているのか、今後の予想はどうなっているのかを分析すること。増加傾向が続くのであれば、新設や保育士の確保を含め、中長期的な対策を講じる必要があると思われる。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・入園保留者の理由は分析されているのか 	<ul style="list-style-type: none"> ・保留理由の分析を行い、公表すると共にどのような対策が可能なのか検討する必要があるのではないか。
18	<ul style="list-style-type: none"> ・誘致する場所が不足していることが原因の一つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の一本化または、商工会議所、官民の情報の共有化、奨励金等各種特典のより一層のPR。（中小企業ビジネス支援サイト「Jnet21」等の活用等）
18	<ul style="list-style-type: none"> ・どこにどういった企業を誘致するのか、その方向性がはっきりしていない。 ・地域金融機関との連携不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域金融機関の活用 ・不動産情報の有効活用 ・ビジネスマッチングの強化

基本目標 3	18	・順調に増えており、計画期間の最終年度である今年度で達成できる可能性が高いと思う。	・特になし。 ・現在の取組を粘り強く継続することでいいと思う。
	19	・どちらかといえばアウトプット指標に近いものであり、達成できるかどうかは市がこの事業にどのような人員体制で臨むかにかかっているように思う。 ・コーディネート数は順調伸びており評価できるが、計画期間内に達成するには目標値がやや高すぎるのではないか。	・計画期間内に目標値を達成するためには、人員増など体制を強化する必要があると思う。
	19	・連携を求めている企業のニーズへの対応力は充分かどうか。	・柏市インキュベーション事業の機能充実、実行力を高める。
	19	・キラーコンテンツ不足？	・これまでのマッチング事例、成功事例等をまとめ、“自分ゴト化”として捉えてもらい、今後の誘致／コーディネートの加速につなげる。
	20	・農業未経験者の場合、個人事業（農家）としての農業への新規参入は、補助や研修を受けてもハードルが高いのではないか。	・新規就農者に関する農水省の統計によれば、最近是全国的に農業法人への雇用される形態が増えている状況があり、農業法人の設立を促進していく取組も有効と思う。
	21	・農商工連携による新商品開発を進めるためには、高い技術力や企画力、そして一定規模以上の生産ロットが必要であり、カウンターパートが個人事業（農家）だけでは連携件数が増えていかないのではないか。	・農協を企業のカウンターパートとする方法も考えられる。また、農業法人の設立を一層促進し、大規模化やハイテク化を支援していく取組も有効ではないか。
	21	・柏の野菜はとてもおいしいですし、「ブランド野菜」としてもっとPRすべきだと思います。農家自ら商品化を行った事例が6件あったとのことですので、市の支援により実際に市民が目にして購入できる場があれば、もっと促進していくと思います。	・「柏のふるさと産品」ではないが、柏産の農産物を使用した商品を増やしPRしたいと思っています。
	21	・日々の作業が忙しい中で、新たな商品を生み出す時間と手間、PCなどの技術不足。	・上記の子育て仲間がいないという問題と絡めて、地元の主婦監修による新しいメニュー開発や、料理コンテストの実施。地元の店舗での取り扱い、販売。 ・地元紙や広報を利用しPRを行う。駅デッキでのPRイベント。
21	・PR活動不足、または手法の見直しが必要ではないか。	・アグリビジネスパーク推進事業、道の駅しょうなんとの連携強化。	

基本目標4	22	<p>・目標値には達していないが、そもそも84%という数値は県政世論調査（30年度）における類似の質問項目の数値と比較してもかなり高い数値であり、課題ということではないと思う。</p> <p>・また、民間が調査したいいくつかの県内の住みたいまちランキングでも、柏市は概ね上位に入っている。</p> <p>※今の場所に住み続けたい</p> <p>千葉県全体 73.4% （東葛飾地域） 75.0%</p> <p>※住生活全般の満足度（大変満足+まあ満足）</p> <p>千葉県全体 67.1% （東葛飾地域） 70.3%</p>	<p>・特になし。</p> <p>・現在の高い割合を維持していくことが大切だと思う。</p>
	23	<p>・交通事故は千葉県全体で増えている状況であり、かつ車は市域を越えて広域的に移動する乗り物であることから、柏市の取組だけで大きく改善できる問題ではないと思う。</p>	<p>・交通事故を減らしていくためには、歩道整備や事故が多発している交差点の改良などのハード面の対策に加え、高齢者や子供への啓発、運転マナー向上や飲酒運転撲滅、違反取り締まりなどのソフト面の対策を、国や県、市町村、警察などの関係機関と交通安全協会などの関係団体が連携協力し、総合的かつ粘り強く進めていくしかない。</p> <p>・ただ、近年の特徴として、高齢者の夜間の歩行中の事故や、高齢ドライバーが起す事故が増えているので、その防止に力を入れた対策（※）は効果的ではないか。</p> <p>※反射材の配付、サポカーの導入促進など</p>
	23	<p>・高齢者ドライバー対策の推進が弱い？（物損事項は高齢者？）</p>	<p>・市内には道が狭いエリアも多く、高齢者ドライバーへの免許返納促進活動や、返納後の代替策を急ぎ検討すべきと考えます。</p>
	23	<p>・件数増加の内訳は、人身事故の減少に対して物損事故の増加ということだったが、対策が「安全教育実施」や子供・高齢者を対象とした安全教室、啓蒙が中心ということで、教育効果は認められる者の、物損に対しては有効な手立てが打てていないとも考えられる。</p>	<p>・物損事故の要因分析に基づき、道路設備改善や見通し・駐車場などの改善、交通マナー順守など、物理的な改善策にもっと力を入れていく必要があるのではないか。</p>
	25	<p>・市民活動団体の活動場所がパレット柏などに限定されている。</p>	<p>・市民活動団体が活動できるサードプレイスの整備と同時に街の担い手づくりが必要。</p>
	25	<p>・順調に増えており、計画期間の最終年度である今年度で達成できる可能性が高いと思う。</p>	<p>・特になし。</p> <p>・現在の取組を粘り強く継続することでいいと思う。</p>

25	<ul style="list-style-type: none"> ・団体数の増加は高齢化と比例しているように感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の団体の洗い出しと、分類。 ・若年層による組織リーダーの育成や、単なる文化祭にとどまらない発表の場の設定。
26	<ul style="list-style-type: none"> ・市の自己評価を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 ・現在の取組を粘り強く継続することでもいいと思う。
26	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の周知不足も考えられるのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワーク（ジョブパーク柏）利用者に対して、地域における各種情報提供の一環として、当該事業の周知を検討する。
27	<ul style="list-style-type: none"> ・柏市の場合、住みやすいと考える理由が、この3つの他にもたくさんあるので、割合として今の数値（約43%）に落ち着いているのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 ・現在の取組を粘り強く継続することでもいいと思う。
28	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の大半を占めるJRや私鉄、バスなどの公共交通機関の運行状況が大きく変わらない限り、この数値も大きく変わらないのではないかな。 ・なお、バスに関しては、運行本数が大きく増えなければ利用意欲向上に結び付かないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノンステップバスの導入促進や「ジャンボタクシー」、「カシワニクル」といった事業は、主に高齢者など交通弱者の利便性向上に寄与しているものであり、これらの事業を拡充・強化していくことで、時間はかかるとしても評価値は徐々に上がっていくものと考え。
28	<ul style="list-style-type: none"> ・本委員会の初期より、沼南地域の交通の便の悪さが問題としてあげられていたが、定住促進や観光などの観点から、集客・移動の利便性について他事業との連動を図る必要があるのではないかな？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・場合によっては、地域民間施設の送迎バスなどのタイアップにより交通利便性を改善する策も検討してみてもいいかな。都営交通のシニアバス（無料）や横浜市営バスの観光地を循環する「赤いくつ」バス（100円均一）など参考になるのでは。

その他意見一覧

内容
<p>・千葉県北西部という地の利を生かして、都市計画のランドデザインを前のめりで実行してもらいたい。</p>
<p>・基本目標1の「6 住宅支援制度数」について、目標値は「制度を3つ設けること」と読めるが、自己評価内容を見ると、これまで設定した2つの制度の有効性について述べている。基本目標の「人の流入」に関して効果を発揮していないという実感を持っており、制度の浸透が課題と捉えているように伺える。本項目の評価対象は、制度数ということになるため、評価内容と整合していない。もともと、指標自体あまり意味が無いということも言えるが、柏市に人を呼び込むために有効な施策・制度の見直し、規制緩和等、複数の視点で基本目標に貢献することを考える必要があると思われる。したがって、本項目については、目標値＝制度数に拘らず、既に施行された2つの制度がどの程度人口流入・定住に結びついているのか、有効性の検証を行い、利用しにくい要因を徹底的に分析した上で、より有効な制度や緩和策など、時限的なものも含め、促進策を考えていただきたい。</p> <p>・基本目標2の13「教育環境の充実」に対する市民満足度については、実際に小中高に通う子供を持つ年代層と既に子供が学齢期を過ぎていたり、子供がいないなど、ある程度層別して分析をしないと、実態が見えてこないのではないかと。本来、柏市の教育環境に直接関係している対象者の意見を聴きとることが肝要と思われる（「分からない」はその表れであると考えられるので、除外しても構わないと思う。）</p> <p>・基本目標3の「18 誘致企業数」について、指標は「誘致企業数」で実績が11件であり、目標の50件に対して大幅に乖離している。累計併記している意味がよくわからないが、これは何の累計を指すものか？また、これまで問い合わせがあった企業数という意味であるならば、見込みランクはどのようにつけていて、今後2年でどのようなアプローチにより50件の目標を達成しようとしているのか、説明していただきたい。同様に、No.19,20,21も実績値と累計の関係、見込み、実績があがっていない要因などを分析して、説明が必要。</p> <p>・基本目標4の「27 柏市の住みやすい理由～」について、「災害に安心な環境」9.1%、「治安が良い環境」14.2%の数値が果たして妥当なものなのかどうか、それぞれ改善の余地があるのか、判断できない。何か比較できる資料があれば提示してほしい。また、「道路や公園整備」についての回答結果は42.7%から前者2件の%合計を引いたものになるのか？合計値の場合は、どれかが突出して伸びて、どれかの指標が低下しても合計がクリアできればよいという考え方なのか？</p>
<p>・全体的に市のHP等から情報発信しているものの、ターゲットまで辿り着けていないように見えるので、導線作る企画等を考えても良いのではないのでしょうか。（Vチューバーなども検討してみてもいいのでは？）</p>